

設 立 趣 旨 書

1 趣 旨

わが国では、脳卒中の年間発症者数が約 30 万人に上り、要介護状態となる原因の上位を占めており、特に要介護度が高くなるほど脳血管疾患の割合が高まる傾向にあります。医療技術の進歩により救命率は向上したものの、後遺症により日常生活に支障をきたす方は少なくありません。適切なリハビリテーションにより機能回復や生活の質の向上が期待できる一方で、医療保険・介護保険による公的サービスには限りがあり、多くの患者様が十分なりハビリテーションを受けられずにいます。

特に、経済的な理由により自費でのリハビリテーションを受けることが困難な方々にとって、この状況は深刻です。医療・介護の制度の狭間で、回復の可能性を諦めざるを得ない方々が数多く存在しています。リハビリテーションは、単に身体機能を回復させるだけでなく、その方らしい生活を取り戻し、社会参加を実現するための重要な手段です。しかし、現状では経済状況によって、そうした機会が制限されてしまっているのです。

この課題に対して、私は 17 年以上の理学療法士としての臨床経験、特に脳卒中リハビリテーション分野における専門的知識と技術を活かし、経済的困難を抱える脳卒中患者様に対して無償でリハビリテーションサービスを提供する活動を行っていきたいと考えました。質の高いリハビリテーションを提供することで、より多くの方々の機能回復と生活の質の向上に貢献することが可能です。

本法人の活動を通じて、経済状況に関わらず、すべての脳卒中患者様が適切なリハビリテーションを受けられる社会、そして一人ひとりがその方らしい生活を取り戻し、笑顔で暮らせる地域社会の実現を目指します。医療・福祉分野における公益性の高い活動を継続的かつ安定的に行い、社会に貢献していくためには、社会的信用を得られる法人格が必要であると考え、特定非営利活動法人格を取得することといたしました。

2 申請に至るまでの経過

- 2025 年 8 月 脳卒中リハビリテーションの専門家として活動を継続する中で、経済的困難により十分なりハビリテーションを受けられない患者様の実情を目の当たりにし、NPO 法人設立を決意
- 2025 年 11 月 NPO 法人設立の具体的検討を開始し、事業計画の立案および設立準備を進める
- 2025 年 12 月 設立総会を開催

令和 8 年 1 月 5 日

特定非営利活動法人 EYL for smile

設立代表者 氏名 水上 俊樹